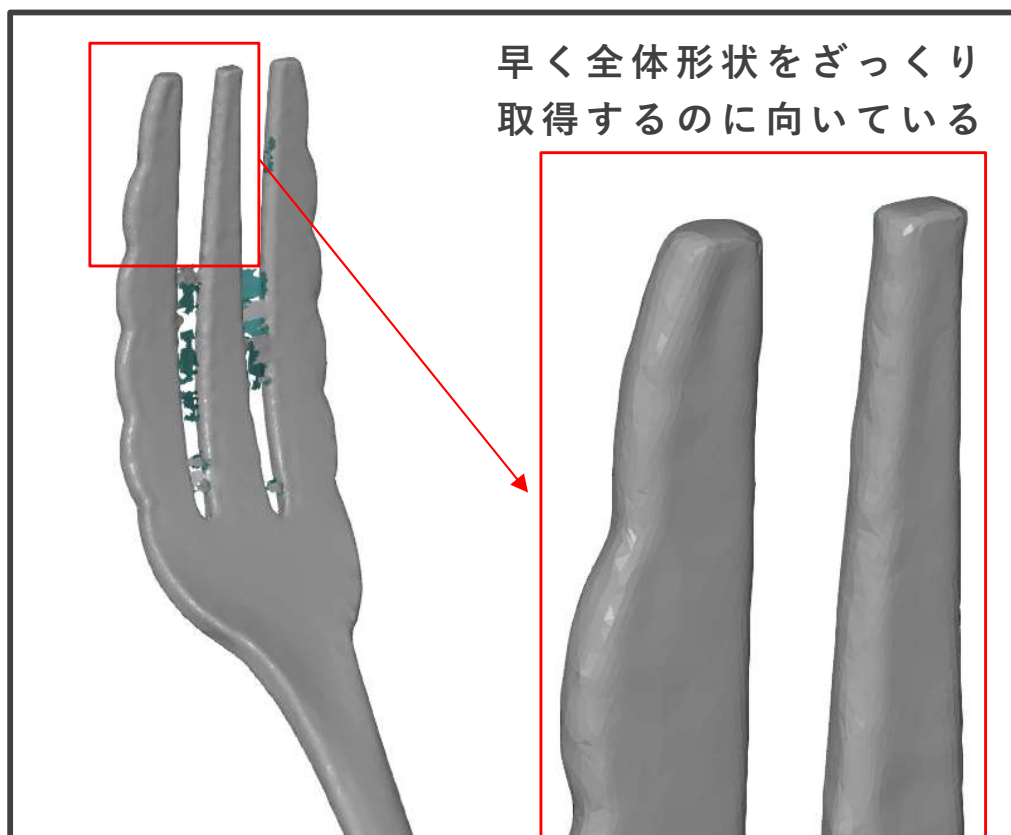


はじめに 3Dスキャナー別 測定結果 比較

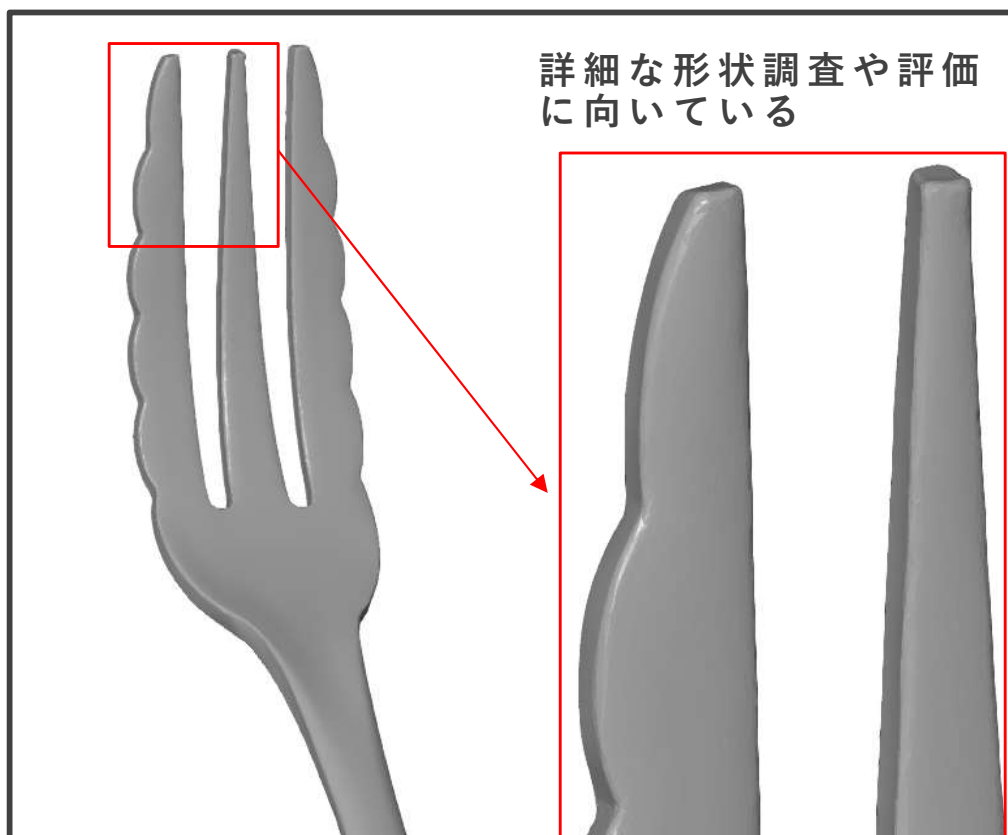


測定データ①②↓は、
同じアイテムを違う3Dスキャナーで測定した結果です。
「3Dスキャンデータは使えない」とがっかりしないためには、
目的に合った設備を使うことが必要となります。

測定データ①



測定データ②



3Dスキャンデータ① 最小分解能の設備で測定

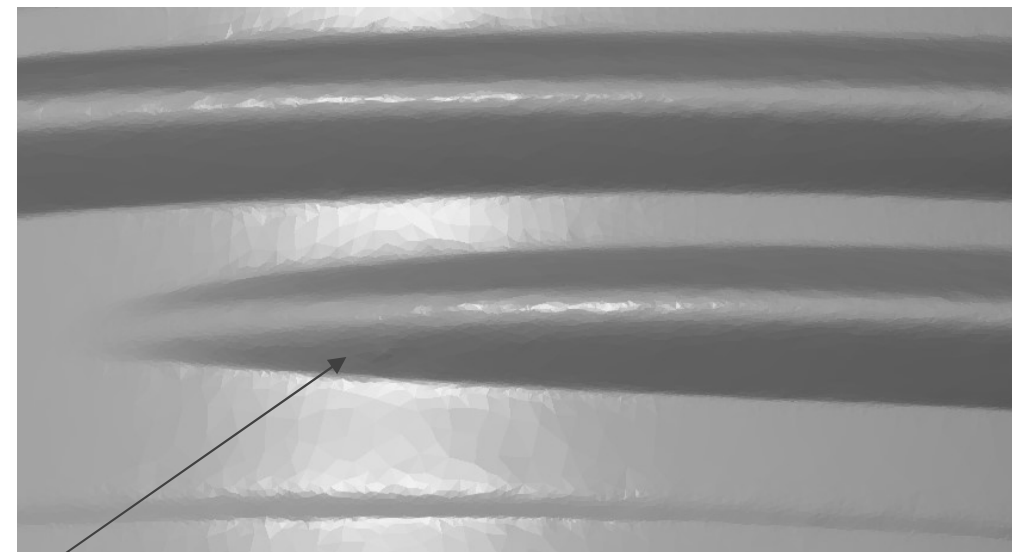
樹脂成形品 ねじ 良品vsNG品 現物vsCAD 形状比較 形状確認

【現物画像】

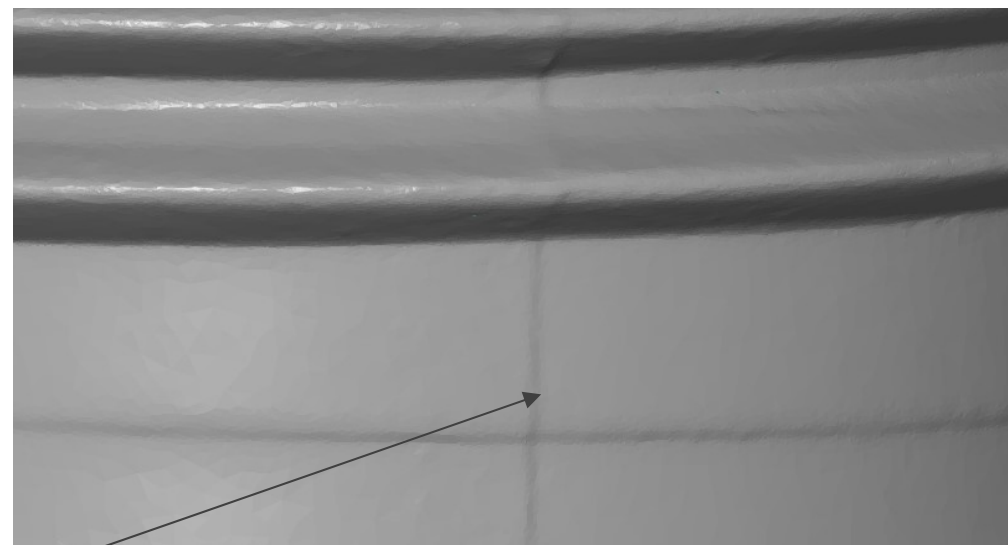


$\Phi 19.7 \text{ mm}$

【3Dスキャンデータ】



ねじ切り終わり形状



パーティングラインのような微細形状も再現

【使用機器】

機種：stereo SCAN R16 neo

メーカー：ヘキサゴン・メトロジー社

レンズサイズ：S-125（分解能0.019mm）

3Dスキャンデータ② 最小分解能の設備で測定

金属部品 ローレット 微細形状 外観不良調査 形状確認

【現物画像】



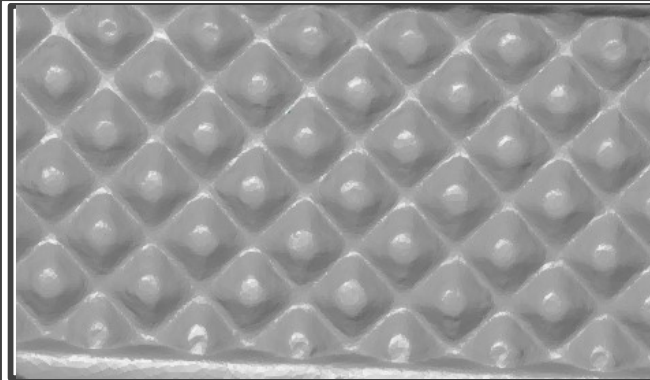
上面から撮影（光源有）



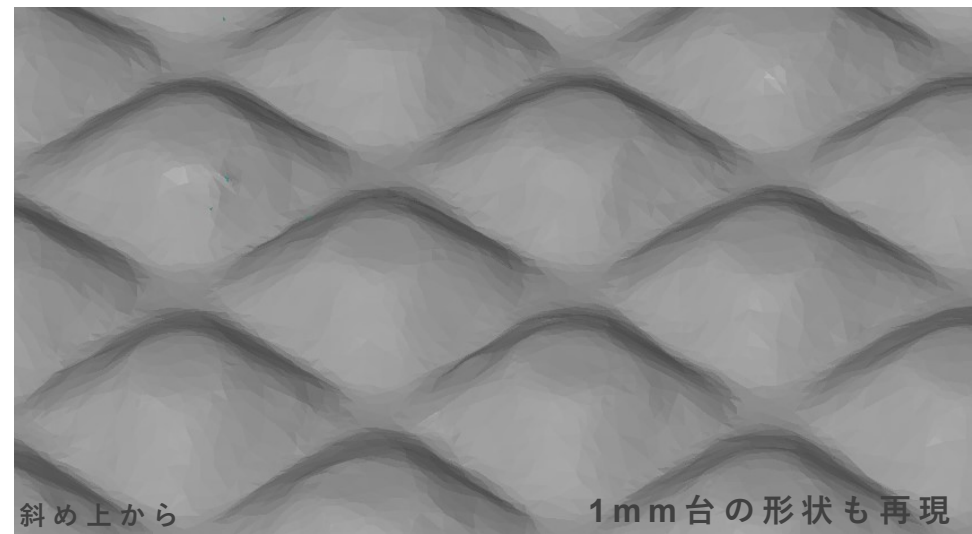
斜め上から撮影（光源抑え）

1.4 mm

【3Dスキャンデータ】



上面から



斜め上から

1mm台の形状も再現

【使用機器】

機種：stereo SCAN R16 neo

メーカー：ヘキサゴン・メトロジー社

レンズサイズ：S-125（分解能0.019mm）

「3Dスキャナーを導入したものの、取得できたデータは結局使えないものだった」
「だから社内での3D活用が進んでいない」
というお声をよく聞きます。
もしそれが目的に合わない方法で測定された結果だったとしたら、非常にもったいないことと思います。

パンチ工業では、パートナープランでのお試し3D測定もご提案できます。
ご相談やサービス紹介も無料で承りますので、お気軽にお問い合わせください。

パンチ工業の現象把握サービス 3D計測パートナーズ

詳細 & お問い合わせは

量産安定 形状測定

検索